

事業所名 大府市発達支援センターみのり

公表日 令和7年 10月 30日

利用児童数 令和7年 9月 19日

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0	・部屋に対しての子供の人数も多くないので、十分確保されていると思う。 ・のびのびと動くことができていると思います。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0	・特に問題ないと思います。 ・時々忙しそうだなと思うこともあります。	・登園するお子さんの数によっては、職員が忙しそうに感じられると思います。安全を第一に職員配置をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	0	0	0	・何の部屋かイラストがあったり、入れる、入れないの〇×があったりと子供にわかるようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0	・清潔で、ゴチャゴチャしてなくて、過ごしやすい環境だと思います。 ・いつも清潔で、汚れはすぐにきれいにしてくれます。	・今後も、衛生面には気を付けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1	0	0	・専門の先生も対応して頂けるので安心です。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	1	0	2	・合っていると思います。	・支援プログラムは配布していますが、ホームページにも記載されております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1	0	0	・いつも細かいところまで話を聞いてくれて対応していただいています。 ・しっかり聞きとりをして支援計画書を作ってくれました。	・ありがとうございます。今後も、こどもと保護者のニーズに沿った計画を作成できるように心掛けます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	0	・支援にそってサポートして頂いてます。 ・その時々課題を具体的に盛り込んで設定されていると思います。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	・はい！	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	0	0	・同じプール活動でも、いろんな工夫をいただけてすごいと思いました！ ・代表的な活動や歌は毎年同じなので、多少変化があってもいいなと思います。	・ご意見ありがとうございます。同じ活動をすることで、こどもたちが慣れてきて参加できることもあり、繰り返し行うことを大切にしていますが、新しい活動も取り入れていきます。また、インスタ等でも活動の様子を紹介していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	0	0	・交流するイベントなどもあり、よいと思います。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	0	0	0	・しっかり説明いただきました。	・ご不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	・しっかり説明いただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	0	0	0	・家族参加のイベントなどもあり、事業所との交流できてよいと思います。 ・何度か研修も行われており、毎回勉強になります。 ・いつも子どものことをしっかりみてくださり、どのようなことをするとよいのか教えてもらえて家庭でも助かっています。	・今年度は保護者研修に力を入れ、様々な内容で開催しました。ぜひ、ご希望の内容などあれば、お知らせください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	0	0	0	・いろんな先生が声をかけてくれ、話しやすい環境ができていると思います。 ・情報共有の場を設けて下さるので助かります。 ・先生からモニタリングの時などお話を聞いて子どもの発達・成長に気づけることが増えました。	・話しやすい雰囲気と感じていただけたなら嬉しく思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	0	0	・カウンセラーの方と話す機会をつくってくださいました。 ・精神的に大変な時、いつも話を聞いてもらえて何度も救われています。ありがとうございます。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	・親身に反応してくださっている。 ・いつも味方でいて下さることを日々感じています。 ・いつも本当にありがとうございます。	・励みになるお言葉、ありがとうございます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	0	0	・毎回きょうだい向けのイベントに参加していますが、「次はいつか？」と聞くほどに楽しんでいます。 ・きょうだいDAY、家族DAYなどのイベントが年間行事にくみこまれている。 ・父母の会があると保護者交流がどんな様子か最初は何もわからないので、もう少し説明が欲しかったです。 ・進路相談会はとても勉強になり、保護者交流もしやすかったです。	・保護者交流の機会として、進路相談会や夏まつり、クリスマス会、土曜療育等があります。今後は、行事の説明を丁寧に行えるよう検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	0	0	・相談に対して迅速に対応してくださいます。 ・何か相談した時は、すぐに対応して下さいます。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	0	・はい！ ・ノートをいつもいていねいに書いて下さるので、とても嬉しく思っています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	0	0	・LINE通信やインスタ、楽しみにして ます。 ・LINEを取り入れて頂いたり、改善しようとする気持ちが伝わります。 ・LINEでのお知らせは、タイムラグもないので助かります。	・今年度、公式LINEを始めました。登園しなくても、様々な情報をすぐにお知らせできています。今後も活用してまいります。ご意見などございましたら、お知らせください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1	0	0	・写真の使用等で毎回必ず確認してくれ ます。 ・顔出し、名前出しなどの確認など徹底 されていた。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	0	・避難訓練でいろいろな説明しながら進 めていただきました。 ・なかなか参加はできていませんが、定期的 に訓練をしているのは知っています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	0	・少し前に参加させて頂きました。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	0	0	・安全確保のために役割分担をするなど 考えられており、すばらしいと思いま した。	・ありがとうございます。常に、職員間 で意見を出し合い、安全確保について意 識を持つようにしています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	1	・はい！ ・怪我や事故にあわずにすごせました！	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	・少しずつ慣れてきて行動範囲が広がっ たり、人や環境になれてきた様子です。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	・大好きな場所なので、駐車場についた とたんになににすぐ入りたがります。 ・毎回楽しく通わせて頂いてます。 ・みのりのみなさんのことが大好きなよ うです。 ・毎回喜んで行っており、帰ってから何 をやったのか教えてくれます。	・とってもとっても嬉しいお言葉をいた だき、ありがとうございます！これから も、子どもたちが楽しんで通えるよう に、職員一同努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	・就学までなのが残念なほど大満足して います。 ・姉弟で通わせてもらえる事に感謝して おります。 ・子供だけでなく、家族全体へも気遣っ ていただき、いつもありがとうございます。 ・満足しているが、こづ促すといい、こ う言っているとよいなど、アドバイス をしてもらいたいと思うことはある。	・ご意見ありがとうございます。ご相談 がありましたら、遠慮なく申し出てく ださい。一緒に考えさせていただきます。

事業所名		大府市発達支援センターみのり			公表日		令和7年 10月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・朝の打ち合わせで、当日の人員配置の確認をしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・どの部屋でも子どもの対応ができるように、各部屋整えています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・朝の打ち合わせ、保育終了後のふり振り返りを行っています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・評価を受け、結果を報告しています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・打ち合わせや振り返りのタイミングで意見が言いやすいと思います。 ・リーダー面談と管理者面談を年2回ずつ計4回行い意向も聞いている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	・令和4年度に実施。市からは3年に1回の受審を指示されている。	・令和8年度に受審する予定です。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・法人研修、みのり職員研修、外部研修など多くの研修の機会を設けている。			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページにのっているのを知りました。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・アセスメントシートの見直しが必要。	・5領域の観点に沿ったアセスメントシートに改訂します。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	作成時には個別支援会議を行っているが、当事者、他機関などの参加はない。 ・保育士だけではなく、訓練など関係する職種と連携し、支援を検討または職員全体で共有している。	・必要に応じて、関係機関にもお声かけしていきます。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・時間がない時には、計画に沿った支援ができないので、ジレンマです。 ・記録に計画内容を落とし込みながら支援しています。	・こどもにとって今何を優先するのかを考え、また、時間に余裕を持って支援に入るなどしていきます。これからも、こどもへの関わりに対し、真摯に向き合っていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・日々の様子(インフォーマルなアセスメント)を過信しすぎないように、気をつけています。 ・発達検査を受けてもらい、結果や今後の支援方法を心理士と共有しています。 ・朝のミーティングで必ず確認している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・定期的に発達検査を実施。他には日々の行動観察により確認。			

提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・保育月案会議を開き、毎月活動の確認を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・夏のプールあそびでは、+αの遊びを設けて固定化しないよう、工夫しています。 ・同じ活動でも、一週間の中で変化が持てるように工夫されています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝に打ち合わせの時間を設けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・計画の目標に沿って、お子さん一人ずつ振り返りをしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・療育とリハビリ共有のシートで記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・前期と後期で2回行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・医療や併行利用している保育園や他の児童と連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・みのりと保育園、それぞれの良さを活用できていると思っています。(併行利用児)保育所等を通して、双方の姿の共有もしています。 ・保護者の意向調査+見学同行などの支援を行うとともに、移行後には事後訪問+連絡などを行っている。 ・保育所等訪問支援につなげ、園との情報共有・支援をおこなった。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・就学して1ヶ月頃に、アフターフォローをしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	7	1	・地域全体の質の向上に当たる取り組み等ができていない。 ・知多地域児発センター連絡会や東海地区児童発達支援センター連絡協議会に参加。同じ大府市内のおひさまとも密に連携を図っている。 ・年に数回通所事業所と会議の場で情報を共有。 ・センター主催で研修もおこなう予定。	・センターとして中核機能を果たすべく、今後も地域での役割について考えてきます。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	8	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	8	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・若宮保育園と年4回交流を行っている。地域こども幸齢者交流センターへ年に4回訪問し、他児と交流。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・研修の機会は設けていないが、職員が研修を受け、家族支援の幅を広げている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・入園時(入園前)に説明しています。 ・外国籍の方も増え、伝わりやすい言葉で説明することを心がけている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者へすぐ回答をしにくいことはあるが、職員間で話し合ってからお返事しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会の設定はしていないが、行事や研修などを通して、交流はしています。きょうだい児同士の交流も同じくです。 ・みのりOB保護者による進路相談会やその後の交流できる時間を用意したり、夏まつりというイベントで交流できるように配慮している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・保護者へすぐ回答をしにくいことはあるが、職員間で話し合ってからお返事しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・場所や書面の扱いには気を付けています。 ・写真の利用などプライバシーに関する取り決めは不十分。	・個人情報の取り扱いの同意書の他に、写真利用とプライバシーの同意書も作成していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・公式LINEを使用して、情報を発信している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	・今年度初めて、総合防災訓練の際にお招きしました。 ・防災訓練で、ご近所の方におこし頂きました。 ・R6年度はハロウィン、R7年度は消化訓練を地域の住民を招いて行った。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・非常時用でも、おあずかりしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・現在はいないが、対応できる体制は整えています。 ・現在アレルギーにあるこどもは在籍していないが、対応方法はマニュアルとしてある。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	7	・安全計画は作成していない。	・今年度中に安全計画を検討し、職員研修で周知します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	6	・災害時の対応とは別に？	・安全計画を作成後、保護者にも周知を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・職員会議で振り返り(読み上げ)をおこない再度確認している。 ・ヒヤリハットの起きた当日に共有、月に1回会議内で振り返っています。	

	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		

○事業所名	大府市発達支援センターみのり			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【保護者チェック項目 27・28・29】 こどもが通所を楽しみにしていると、保護者がこどもの姿を見て感じてくれていること。また、保護者自身も、支援に満足してくださっていること。	・送迎時に、保護者と会話することを心がけている。 ・こどもの日々の姿をよく観察し、事業所での様子や家庭での様子を保護者と共有している。 ・直接会ってお話が出来ない保護者には、連絡ノート等を使用し情報共有をしている。	・個別支援計画の目標に対する取り組みや支援の方法が日々変化するため、その都度、保護者と共有していく。
2	【自己評価チェック6～10】 朝の打ち合わせ、療育終了後の振り返りの中で、PDCAサイクルを職員全体で行うことができています。また、外部評価の受審や外部研修なども多く参加している。	・困ったケースや悩んだケースを、その日のうちに職員全体で共有するようにしている。意見が言いやすい雰囲気作りをしている。	・外部研修等を受けた後、療育に取り入れていけることを職員間で共有し、支援に活かしていく。
3	【保護者チェック1～3・自己評価チェック1～5】 こどもの活動等のスペースが確保されていて、清潔である。また、こどもにわかりやすく構造化されている。	・入室に関しては○×で表示し、こどもたちにもわかりやすくしている。各部屋ごとに、イラストを掲げている。	・訓練のみ、部屋のイラストを使用しているため、他の部屋についても、こどもたちにわかりやすい写真やイラストを使用していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【保護者チェック項目 24・25 自己評価チェック項目 49】 安全対策の不備や周知不足 ・安全計画が作成されていない。 ・事故(怪我等を含む)が発生した際の対応について、周知ができていない。	・安全計画の作成の有無を把握していなかったため。 ・怪我をした際の対応の仕方を周知する機会がなかったため。	・安全計画を作成し、職員および保護者にも周知を行う。周知の仕方をどうするか、職員間で協議する。 ・みのりのほけんだよりで、怪我をしたときの対応等、説明する機会を設ける。
2	【保護者チェック項目 18・19】 保護者への説明不足。 ・保護者会(進路相談会)や相談に対する対応の体制について細かに説明する機会がない。	・保護者に事業内容等を説明する機会がなかったため。	・事業内容や要望、相談の体制等、説明の機会を作る。
3	【保護者チェック項目 10】 活動プログラムが固定化しているとの声があった。	・季節によって経験してほしいことや発達・特性が個々に違うため、繰り返しやることを大切にしているため。それによって、活動が定番化されてしまっているため。 ・毎日、通園する子がほとんどいないため、全員が経験できることを目的に、一週間同じ内容にしているため。	・定番化した活動でも、内容に変化をつけていることを積極的に発信していく。また、そのねらいについてもみのりっこLINEで説明をしていく。 ・新しい活動を取り入れていく。